

令和4年度 環境で地域を元気にする  
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

## 成果共有会 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備”に取り組む	
昨年度から引き続き“環境整備”に取り組む	✓

活動団体名：米沢市

活動地域：山形県米沢市

活動におけるテーマ

『なせばなる上杉鷹山流のローカルSDGs』

## 山形県 米沢市



米沢牛



## 米沢市版地域循環共生圏マンダラ図

### なせばなる 上杉鷹山流のローカルSDGsの実現

【米沢市SDGs未来都市計画】2030年のあるべき姿



江戸時代にSDGs政策を推進した  
米沢藩主 **上杉鷹山公**

財政難に陥り破綻寸前となっていた米沢藩は、上杉鷹山（1791～1822）を第9代藩主として迎え入れる。鷹山公は、生涯をかけて改革を実施し、農村復興、勉学振興、水害・飢饉・火災等災害対策の強化により、藩の危機を救い、幕末まで続く藩政の礎を築く。

鷹山公が根付かせた「ものづくりマインド」が市内経済をけん引するまち

「現代の藩政改革」による健康長寿日本一のまち

「草木塔」などの本市独自の精神文化を基軸にSDGsを実装する環境教育先進都市

#### 産業振興

- ・紅花文化の利活用
- ・米沢市版DMOの設立
- ・学生の地域内への就職促進

#### 米沢ブランド戦略推進

- ・米沢品質の向上
- ・TEAM NEXT YONEZAWAの推進
- ・米沢品質AWARDの実施

#### 健康長寿日本一推進

- ・FUN+WALKへの参加
- ・大学と連携した減塩教室の開催
- ・市立病院と民間病院の連携

#### ICT活用推進

- ・地元企業と連携したGIGAスクールの推進
- ・コミュニティセンターへのWi-Fi整備

#### ゼロカーボンシティ実現

- ・シンポジウムの開催
- ・情報提供
- ・地域循環活動の取材、発信
- ・ワークショップ、勉強会の開催

#### 米沢版SDGsプラットフォーム創出

- ・それぞれの取組の見える化
- ・個人、団体の連携の促進

企業

大学

高校

小中学校

金融

行政

個人

#### 資源

牛肉まつり

米沢牛

メタン発酵バイオガス発電プラント

畜産農家（肉牛肥育、酪農、養豚）



木製玩具



草木塔



伝統工芸品(笹野一刀彫)

やまがた炭(米沢産ナラ材使用黒炭)

斜平(なでら)山

米沢市民、団体、学生

米沢市SDGs推進協議会

かてもの

山林

#### 課題

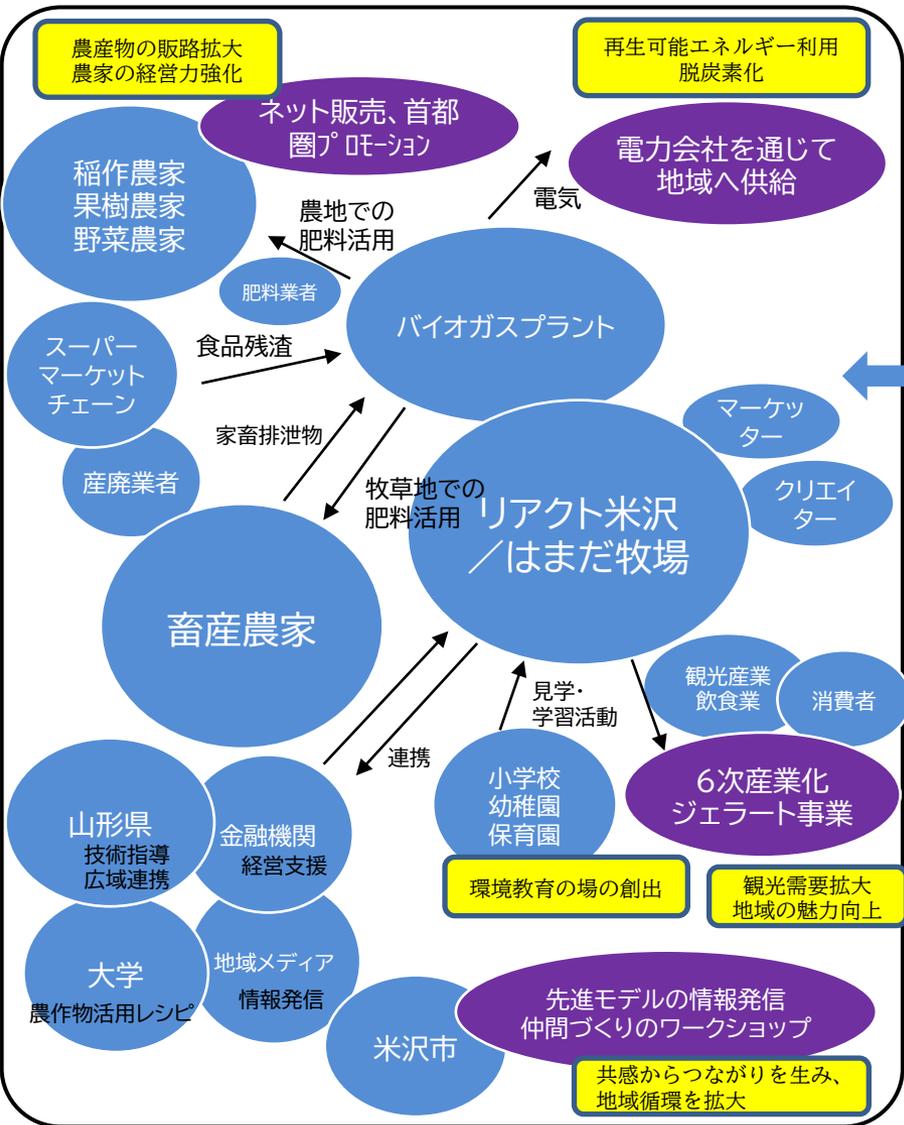
人口減少

少子高齢化

環境保全意識醸成

温室効果ガスの削減

## 市内畜産農家を核としたバイオガス発電等の資源循環の取組



## 米沢市版地域循環共生圏マンダラ図

### なせばなる 上杉鷹山流のローカルSDGsの実現

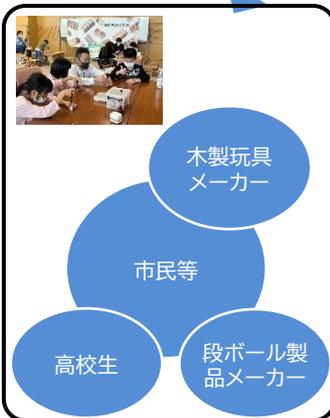
【米沢市SDGs未来都市計画】2030年のあるべき姿

- 鷹山公が創付けた「ものづくりマインド」が市内経済をけん引するまち
- 「現代の藩政改革」による健康長寿 日本一のまち
- 「草太塔」などの本市独自の精神文化を基盤にSDGsを実践する環境教育先進都市

産業振興	米沢ブランド戦略推進	健康長寿日本一推進	ICT活用推進	ゼロカーボンシティ実現	米沢版SDGsプラットフォーム創出
<ul style="list-style-type: none"> <li>・紅花文化の利活用</li> <li>・米沢市版DMOの設立</li> <li>・学生の地域内への就職促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米沢品質の向上</li> <li>・TEAM NEXT YONEZAWAの推進</li> <li>・米沢品質AWARDの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FUN+WALKへの参加</li> <li>・大学と連携した減塩教室の開催</li> <li>・市立病院と民間病院の連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元企業と連携したGIGAスクールの推進</li> <li>・コミュニティセンターへのWi-Fi整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンポジウムの開催</li> <li>・情報提供</li> <li>・地域循環活動の取材、発信</li> <li>・ワークショップ、勉強会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの取組の見える化</li> <li>・個人、団体の連携の促進</li> </ul>



### 米沢市SDGs 「わたしのなせばなる」ワークショップ



### 米沢市SDGs「わたしのなせばなる」高校生チャレンジ



江戸時代にSDGs政策を推進した米沢藩主上杉鷹山公  
 数百年にわたり伝承されてきた米沢藩は、上杉鷹山(1797-1828)を藩政の礎とすることで知られる。鷹山公は、藩政を刷新して改革を実施し、農村復興、殖産興業、永平・寛政、米沢藩政の発展により、藩の発展を成し、幕府で長く執政の職を務めた。

# 地域のありたい未来実現のための これまでの歩み

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定			←協定締結（活動予算執行開始）					◆東北ブロック 中間報告会			◆活動団体成果報告書提出	◆成果報告会
米沢市SDGs推進協議会の開催			◆				◆					◆
【見える化】 わたしのなせばなる	申込受付開始											
市広報で取組紹介		●	隔月で市内で行われている取組の紹介			●	●	●	●	●		●
地域課題のヒアリング												
【つなぐ】 イベント開催								◆米沢市SDGs「わたしのなせばなる」 講演会・ワークショップ				
意見交換の場												◆米沢市SDGs カンファレンス2022 スピンオフ編
SNSの活用												
												SNSによる「わたしのなせばなる」の周知
【取組の拡大】 市民向け研修								◆SDGsプロジェクトのプロモーション 技法研修(計4回)	◆ゼロカーボンシティ推進シンポジウム			
出前講座派遣		●			●	●		◆米沢市SDGsカンファレンス2022		● ● ●		
高校生チャレンジ SDGs動画作成			市内小中学校、自治会、経済団体、 仙台市内中学校等へSDGs講座を実施					◆米沢市SDGs「わたしのなせばなる」 高校生チャレンジ				←→ 動画作成・ ケーブルテレビで放送

# 地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと

2030年のあるべき姿【環境】

「草木塔」などの市独自の精神文化を基軸にSDGsを実装する環境教育先進都市

## ● 「米沢SDGsカンファレンス2022」



## ● 地域循環共生圏の取組事例発表 「米沢SDGsカンファレンス2022 スピンオフ編」



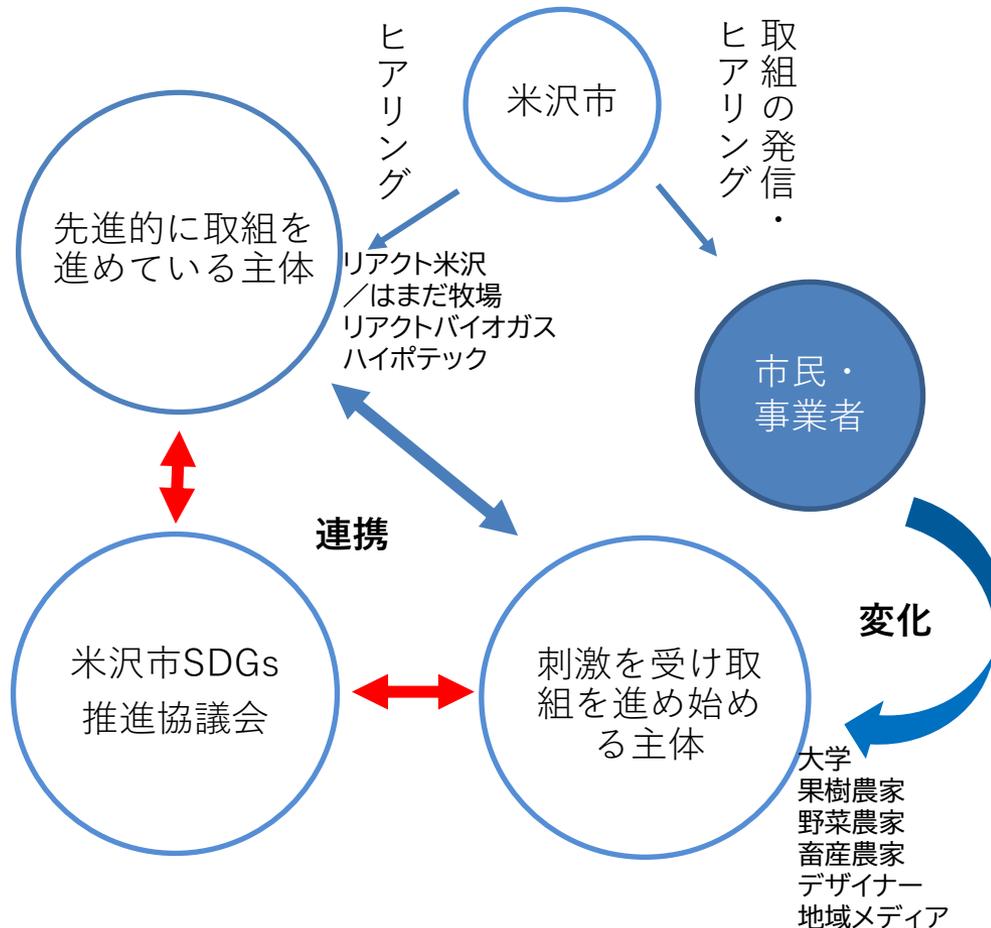
牛糞を用いたバイオガス発電と排出される液肥を活用した農作物栽培による地域循環に取り組む、はまだ牧場代表／株式会社リアクト米沢代表取締役 濱田 篤氏から取組事例や今後の展望を紹介いただく。稲作農家や果樹農家、その他市内で事業を営む参加者とのつながりを生み、地域循環共生圏の輪を拡げていく。

# 現状の地域プラットフォームと取組を通じての変化

【現状の地域プラットフォーム】

地域の資源を活用する持続可能な取組を、相乗効果により市内全体に広げるサイクルの構築

**赤矢印:**今後強化を目指していくかわり



【地域プラットフォームの変化】

・先進的に取組を進める主体へのヒアリングから、巻き込みたい関係者をつなぐ場としての事例発表の開催を通じて、多分野の方へと広がりを見せている。

・

# 取組を通しての成果と新たに見えてきた課題

## 成果

・バイオガス発電に取り組む畜産農家、プラント運営事業者へのヒアリングをきっかけに、様々な取り組みと巻き込みたい関係者＝ステークホルダーが見えてきた。

・カンファレンスやシンポジウム、動画配信により、取り組みの認知度が上がってきた。

・本市の、SDGs推進にかかる取組の趣旨を理解し、協力していただく企業、団体が増えてきた。

・出前講座等を通じて、市内教育機関や各団体等へのSDGsの周知啓発を数多く実施することができた。

## 課題

・SDGsの取り組みを進める企業・団体に対し、持続可能なものとするために、【稼ぐ】視点での支援が必要である。

・すでに様々な取り組みを進めている方の対外的な発信力の強化が必要である。

・地域循環共生圏づくりの取り組みと、SDGs推進協議会との連携や各委員が関わる（所属する）機関との相乗効果を生み出す工夫が不十分である。

# 活動における今後の展望

- ・地域循環共生圏先進事例の支援、周知活動

- 活動を記録、発信することで関係者の共感を得て、事業への協力や共同の輪を生み出す

- ・先進事例紹介とワークショップ開催による事業の応援

- 緩いつながりの強化

- ・SDGs経営推進支援

- 市内企業がサプライチェーンに選ばれる土壌づくりとESG投資を呼び込む仕掛けづくりを行う。具体的には、企業におけるSDGsの取組状況を可視化・診断するツールのデジタル実装を目指す。